

標記会社對明朗會員ノ紛義解決後ニ於ケル其後ノ狀況ハ左記ノ
通ニ有之

一 會社側ノ動靜

會社側ニ在リテハ既報ノ通り五月十五日附取締後海務課長
浦田格介ノ兼任ヲ解キ以下最高幹部級ノ第一次異動ヲ発表
シ明朗會及海陸勤務ノ各社員及一般屬員ニ對スル影響甚大
ナリトシテ注意中ナリレカ明朗會側ニハ特異ノ及響ナク靜
觀シ殊ニ一部高級社員ニハ寧ロ好意ヲ以テ迎ヘラレタル實
情ナルモ屬員協會ノハ今後何等カノ方法ニ依リ策動スル
ニアラサルヤト慎重考慮シ更ニ五月二十八日總會後第二次
ノ異動ヲ発表シ断乎トシテ公正妥當ナル社内革新ヲ行ヒ暗
雲ノ一掃ニ努カスル模様ナリ
尚一部東京横浜神戸ノ陸上勤務ノ高級船員中海上勤務希望

申出アリタルモ二十五日付二十四日瓊賞新聞ヲ刊シ一六六
二號ニ「郵船モ大處分高級船員三十名解雇」ノ記事
約三十名ニ對シテ依願退職云々ノ事項ハ趣根ナルモノ、如ク
列續キ注視中ナリ

二 明朗會側ノ動靜

社内革新ノ意圖ノ下ニ去ル十五日発表セル郵便幹部ノ異動
ニ對シテハ明朗會側ハ尙相當不滿ノ意嚮ヲ有セルカ去ル十
七日矢部 大森 小林ノ三名カ新海務課長大矢新次ト會見
ノ際同課長ハ明朗會ノ精神ヲ略シ誠心誠意社内刷新ノ為メ
盡カスル旨ヲ述ヘ極力明朗會側ニモ自重方ヲ促シタル模様
ナルカ之ニ對シ同會ニアリテモ徒ラニ事ヲ構フルハ明朗會
ノ本旨ニフラス要ハ社内ノ明朗會ニアルヲ以テ同課長ノ人
物手腕等ニ對シテハ些トタル期待ヲ有セサルモ一應其ノ地
位ニ鑑ミ第三次第三次ノ社内移動及明朗會員ノ復職問題ハ